

フォーラム

『自然エネルギーと北海道・日本の未来』向け資料

株式会社グリーンパワーインベストメント

2023年4月13日

Green Power



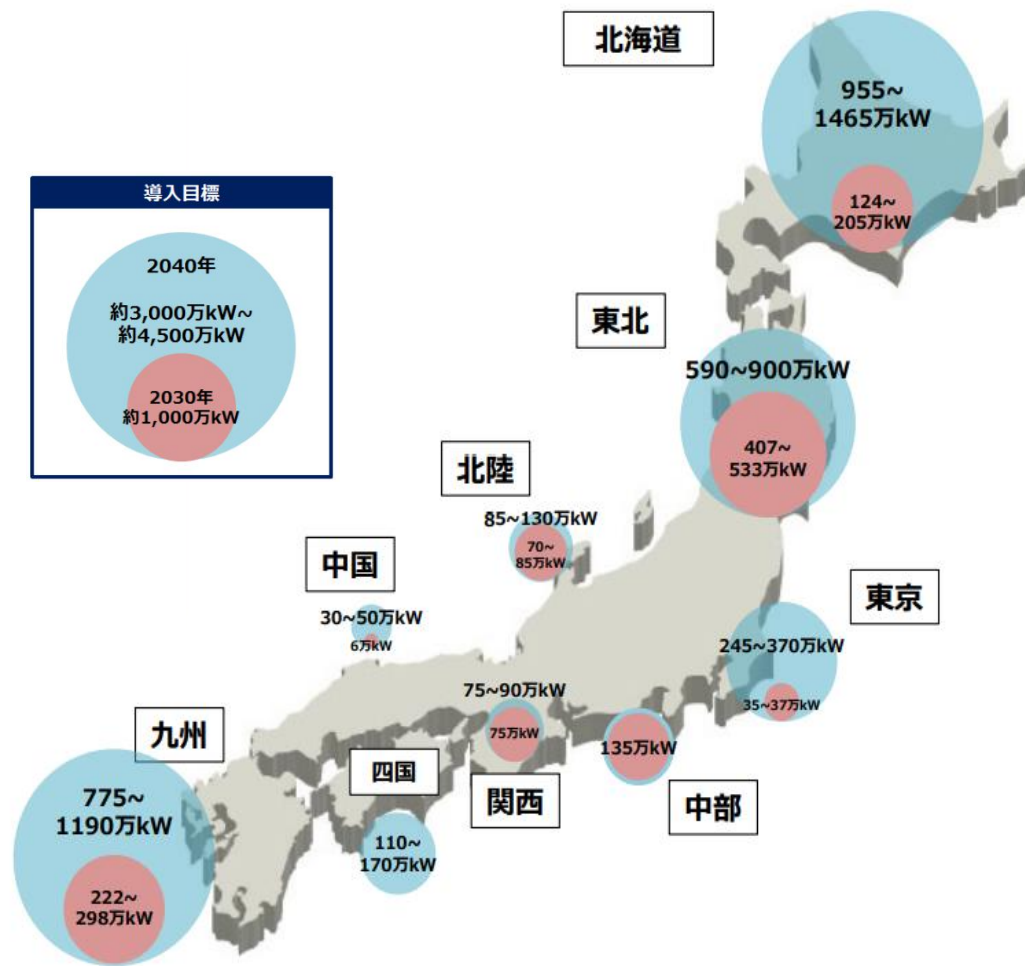
※ 本資料の無断転載・複製はお控えください。

Green Power Investment Corporation 2023 © All Rights Reserved.

国内洋上風力の導入ポテンシャルについて

- ▶ 発電ポテンシャル（風況が良い海域）はどこにあるか？
 - 北海道を中心とした北日本のポテンシャルの高さ
 - 2040年の導入目標のうち北海道が30%を占めると期待
- ▶ 消費地に電力を届けるにはどうすればよいか？
 - 大規模な電源であるため、域外にも電力供給できる
 - 海底直流送電で大消費地に送電する構想
- ▶ 日本にとってどのようなメリットがあるか？
 - エネルギーセキュリティの向上
 - 国富の国外流出抑制
 - 新たな産業創出および経済波及効果
 - CO2削減（2050年カーボンニュートラルへの寄与）
- ▶ 立地地域にとってどのようなメリットがあるか？
 - 関連サプライチェーン創出を通じた経済波及効果
 - 長期安定的な新たな雇用の創出
 - 水素製造など関連産業の地域内外に向けた展開

地域別洋上風力導入イメージ



出典：経済産業省『洋上風力産業ビジョン』（第1次）

国内洋上風力の導入拡大と地域共生の実現に向けて



- 一方、懸念点があるのは当然。洋上風力開発のプロセスにおいて、
 - 域外から来た怪しい者として扱われる
 - 地域の間人関係の理解不足により叱責を受ける
 - 国の施策と地域の認識とのギャップを埋めるのに時間を要するなどを経験することは多い。しかし、地域共生は導入拡大の必要条件。
- 国内洋上風力の早期導入拡大と地域共生の両方を実現するには？
 - 生活の基盤であるエネルギーの将来像について考える契機
 - 地域の特性・ビジョンと洋上風力との関連性について考える契機が必要だと考える。それは『有望な区域』としての指定ではないか。

有望な区域指定後の法定協議会で取り纏められる意見書には要望や懸念事項が挙げられ、選定事業者は自らの計画実行状況を定期的に報告する。意見書は地域ごとに異なり、取り纏めに要する期間も地域ごとに異なるが、先行事例ができるにつれ意見書の具体性が増している印象。

再エネ海域利用法に基づく有望な区域の指定海域を増やし、今後のエネルギー政策を我がこととして捉えた議論を各地で活発化していくことが必要ではないか

弊社における地域共生の事例 (高知県における北海道・青森のグルメフェア)

青森 × 北海道
AOMORI HOKKAIDO

グルメフェア開催!

2021年11月20日①・21日② 10:00～ 無くなり次第終了
会場：道の駅大月(大型テント付近)

道の駅大月産直コラボ企画

青森県つがる市から厳選されたリンゴとジュース
北海道石狩市からは生シャケを産直企画で販売します。
21日②はアツアツの石狩鍋汁も販売致します。

さらにイベント当日に産直・売店にて合計1,500円以上お買い上げの方に
2日間限定、先着20名さまに
石狩鍋汁1杯もしくはリンゴ1個プレゼント
※石狩鍋汁は21日限定に

協賛：株式会社グリーンパワー・インベストメント 【お問い合わせ】
協力：じょぱりの里 合同会社・石狩漁業協同組合 TEL:09



KA80/81
 建設中の石狩湾新港洋上風力発電所と日本初となる洋上風力を起点とする水素利活用について展示いたします。

出典：環境広場ほっかいどう2023 HP (<https://ecochil.net/hiroba2023/>)